

理念・基本方針

理 念

高度なリハビリテーション医療を提供し、地域に信頼される病院をめざします

基 本 方 針

- 安心安全で丁寧な医療を行います
- 社会に広く役立つ研究を行います
- 思いやりのある医療人を育てます
- 自分らしく生きることを支えます

診療科・病床

常 勤：リハビリテーション科、整形外科、内科、
脳神経内科、循環器内科、放射線科

非常勤：脳神経外科、眼科、耳鼻いんこう科、歯科、
消化器内科、呼吸器内科、精神科

回復期 80床（第1病棟 33床、第2病棟 47床）

（第2病棟について、回復期リハビリテーション病棟入院料を届出）

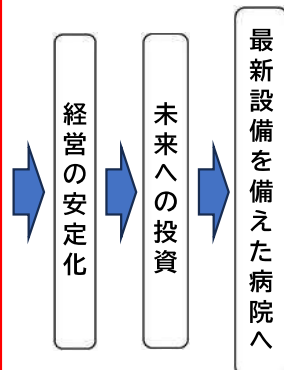
ビジョン実現に向けた経営改善と未来への投資

名市大附属病院群における当院の位置づけ



経営改善により未来へ投資し理想の病院づくりへ

- 地域連携室の協働運用
- 附属病院群間における活発な人事交流
- 病院DX推進による業務効率化
- タスクシフトの推進、働き方改革
- 医療機器の一元管理・相互貸借、計画的新規導入
- 医薬品・医療材料の共同調達
- 医療安全管理室・感染対策室の協力体制
- 委託事業の一括契約による業務の均てん化・標準化



4本の柱とそれらを繋ぐ回廊で病院機能を強化

名市大ブランドを打ち出す新たな診療

- 脳血管障害亜急性期、大腿骨頸部骨折術後等の積極的な受け入れ
- 外来心臓リハビリの強化
- オンライン診療、遠隔リハビリの検討

産官学の連携による先駆的な研究

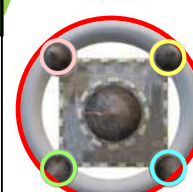
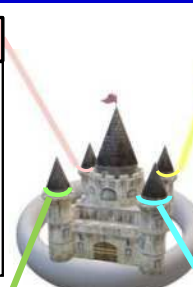
- リハビリ現場のシーズを活かした臨床研究
- 福祉部門との連携による医療機器・装具の開発
- 名市大各学部・研究科、他大学との共同研究の推進

倫理観・使命感の高い医療人の育成

- 幅広い職種の子生実習の受け入れ（医・看・リハ、薬、人文）
- 多様な職員の能力を最大限発揮できる組織・体制づくり
- 地域医療研修システム構築への貢献

市民からの愛と信頼を得る社会貢献

- リハビリ・社会復帰モデルの形成と地域への還元
- 地域との交流イベントやサロン活動、市民公開講座の実施
- 立ち寄りやすい売店やカフェスペース、情報ライブラリーの設置



医療福祉センター

- 医療福祉に関する臨床研究の支援（多職種・産官学連携）
ex) 遠隔リハビリテーション、装具開発等
- 福祉部門との連携による在宅復帰・社会復帰の支援
- 医師地域医療研修のマネジメント（在宅医療を提供する地域医療機関および名市大臨床研修センターとの連携）
- 社会福祉士の育成（人文社会学部との連携）
- 共生社会に向けたダイバーシティ&インクルージョンの取り組み